みずほCustomer Desk Report 2019/08/15 号(As of 2019/08/14)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
公示仲値	106.40				
TKY 9:00AM	106.61	1.1177	119.14	1.2062	0.6797
SYD-NY High	106.76	1.1190	119.20	1.2101	0.6809
SYD-NY Low	105.65	1.1131	117.83	1.2045	0.6736
NY 5:00 PM	105.91	1.1138	117.96	1.2058	0.6747

NY DOW	25,479.42	▲ 800.49	日本2年債	-0.2700	2.00bp
NASDAQ	7,773.94	▲ 242.42	日本10年債	-0.2200	2.00bp
S&P	2,840.60	▲ 85.72	米国2年債	1.5792	▲9.04bp
日経平均	20,655.13	199.69	米国5年債	1.4933	▲9.16bp
TOPIX	1,499.50	12.93	米国10年債	1.5818	▲11.92bp
ｼｶｺﾞ日経先物	20,125	▲ 600	独10年債	-0.6520	▲4.15bp
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	7,147.88	▲ 103.02	英10年債	0.4445	▲4.65bp
DAX	11,492.66	▲ 257.47	豪10年債	0.9515	1.35bp
ﾊﾝｾﾝ指数	25,302.28	20.98	USDJPY 1M Vol	8.43	0.85%
上海総合	2,808.91	11.66	USDJPY 3M Vol	8.34	0.51%
NY金	1,527.80	13.70	USDJPY 6M Vol	7.95	0.39%
WTI	55.23	▲ 1.87	USDJPY 1M 25RR	-1.95	Yen Call Over
CRB指数	170.64	▲ 2.44	EURJPY 3M Vol	8.53	0.45%
ドルインデックス	97.99	0.17	EURJPY 6M Vol	8.24	0.33%

アジア

東京時間のﾄﾞﾙ円は106.61ﾚﾍﾞﾙでｽﾀｰﾄ。前日高値が先週6日の高値を更新せず、反落となる中、同水準では売り優勢。一時106.24まで下落となったが、東京時間午後に中国が貿易交渉のための9月訪米の計画を維持するとの報道を受け小幅反発。106.63まで上昇するも、上値は重く106.40ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。(東京15:30)

ロンドン

ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、106.40ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。特段新しい材料がない中、債券が買われるﾘｽｸ回避ﾑｰﾄﾞとなりじりじりと円買いが進行し105.86ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。ﾎﾟﾝﾄﾞﾄﾞﾙは、1.2058ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。朝方に英7月消費者物価が予想対比上振れたことを受けﾎﾟﾝﾄﾞ買いの地合いとなり、薄商いの中で1.2101まで買われる場面もあったが程なく切り返し往って来い。1.2071ﾚﾍﾞﾙでNYに渡った。(ﾛﾝﾄﾞﾝﾄｰﾙﾌﾘｰ 00531 444 179 神田)

ニューヨーク

海外市場のﾄﾞﾙ円は、中国の7月小売売高と鉱工業生産が市場の予想を下回る中、円買いが優勢となり106.24まで下落。売り一巡後、106.63まで買い戻されるが、米10年債利回りが1.57%台まで低下し、さらに米10年債と2年債の利回りが一時的に逆転(「逆ｲｰﾙﾄﾞ」の発生)する中、再びﾄﾞﾙ売り優勢となり、105.79まで下落し、105.86ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は106.00近辺の狭いﾚﾝｼﾞで小動きでｽﾀｰﾄ。106.11まで上昇する場面もあったが、早朝に発生した逆ｲｰﾙﾄﾞがﾘｾｯｼｮﾝの前兆であるとの思惑に、ﾘｽｸｾﾝﾁﾒﾝﾄが悪化し、米株の下落や米金利の低下とともに、105.65まで下落。ﾀﾞｳ平均はその後も下値模索の展開となり、800ﾄﾞﾙ安となったものの、対ﾕｰﾛのﾄﾞﾙ買いを受けて、ﾄﾞﾙ円は下げ渋っており、106.00近辺まで買い戻される。終盤は小動きとなり、105.91ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。一方、海外市場のﾕｰﾛﾄﾞﾙは、独4-6月GDP(速報値)が予想範囲内の結果だったほか、その他の手掛かり材料が乏しい中、1.11台後半で方向感の無い推移となり、1.1184ﾚﾍﾞﾙでNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、1.1180近辺でもみ合い。その後、特段のﾍｯﾄﾞﾗｲﾝは見当たらなかったものの、独10年債利回りが過去最低水準を更新する中、ﾕｰﾛも全面売りの展開となり、1.1137まで下落。その後、1.1152まで値を戻すが、上値は重く、反落。午後は下値模索となる。終盤にかけて安値を1.1131まで更新し、結局、1.1138ﾚﾍﾞﾙでｸﾛｰｽﾞ。

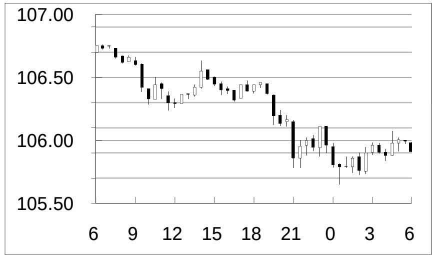
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
8月14日	11:00	中	鉱工業生産/小売売上高(前年比)	7月	4.8%/7.6%	6%/8.6%
	15:00	独	GDP(前期比)・速報	2Q	-0.1%	-0.1%
	17:30	英	CPI(前月比/前年比)	7月	0%/2.1%	-0.1%/1.9%
	17:30	英	CPIｺｱ(前年比)	7月	1.9%	1.8%
	18:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	6月	-1.6%	-1.5%
	18:00	欧	GDP(前期比/前年比)・速報	2Q	0.2%/1.1%	0.2%/1.1%

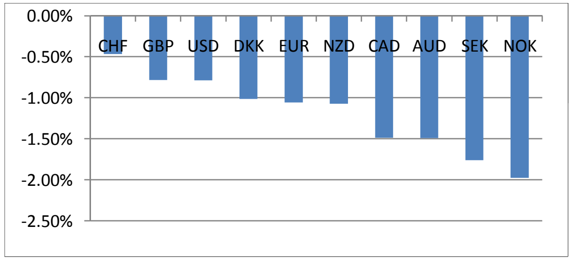
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
8月15日	10:30	豪	雇用者数変化	7月	14.0k	0.5k
	10:30	豪	失業率/労働参加率	7月	5.2%/66%	5.2%/66%
	17:30	英	小売売上高(除自動車燃料、前月比)	7月	-0.2%	0.9%
	21:30	米	NY連銀製造業景気指数	8月	2	4.3
	21:30	米	小売売上高速報(前月比)	7月	0.3%	0.4%
	21:30	米	新規失業保険申請件数	-	212k	209k
	22:15	米	鉱工業生産(前月比)	7月	0.1%	0.0%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.00-106.00	1.1100-1.1200	117.30-118.30

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場では米10年債利回りが低下、さらに米英にて2年債利回りが10年債利回りを一時的に上回り、12年ぶりに逆イールドが発生。これが景気後退のシグナルであると受けとめられ、円買いが先行し、ドル円は一時105.65円まで下落した。

逆イールドは一時的なものであったが、インパクトは大きかった。米10年債利回りは1.57%台まで下落しており、本日もドル円の下落圧力は継続するものと思われる。米7月小売売上高をはじめとして米国の各種経済指標が発表予定であるが、市場予想を下回る弱い結果となればドル円の下落に拍車をかける展開となるのではないか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当：加藤・綱島